

医療関係者の皆様へ：

## エンブレル等使用時の 新型インフルエンザに関する注意事項のご案内

現在、日本を含め世界的に流行が確認されています新型インフルエンザウイルス（H1N1）と免疫抑制作用が認められるエンブレル、リウマトレックスの使用についての情報をお知らせします。

現時点では、新型インフルエンザウイルス（H1N1）のパンデミック（世界的大流行）により、エンブレル、リウマトレックスを含む免疫抑制作用を有する薬剤で治療を受けている患者さんの治療法を変更すべきという具体的な指針は示されていません。

新型インフルエンザの予防・治療については、季節性のインフルエンザウイルス感染症と同様に主治医の判断が必要となりますが、この判断に際しては専門領域の医師の意見を参考に、それぞれの患者さんに対する治療のリスクとベネフィットの評価をお願いします。一般に、以下のような患者さんへ免疫抑制作用を有する薬剤を使用する際には注意をお願いします。

- 治療中止の考慮を要する例
  - ◇ 重篤な感染症や敗血症を発症した患者さん
- 注）エンブレルは、「敗血症の患者又はそのリスクを有する患者」及び「重篤な感染症の患者」に投与禁忌です。
- 厳重に経過観察を要する例
  - ◇ 治療中に新たな感染症を発症した患者さん
  - ◇ 感染症を発症するリスクが高い患者さん
- 注意を要する例
  - ◇ 感染症を繰り返す患者
  - ◇ 進行した糖尿病、管理不良の糖尿病の患者さん
  - ◇ 基礎疾患があり、感染症にかかりやすい患者さん

患者さんに対しては、基本的には季節性のインフルエンザウイルス感染症と同様な予防を心がけるよう、ご指導をお願いします。

また、エンブレル、リウマトレックス投与中にインフルエンザウイルス感染症を発症した場合は、他の感染症を罹患した場合と同様に、適切な処置を行ってください。

添付文書には、禁忌、警告事項、注意事項等が記載されていますので、必ずご確認いただき、患者さんのご指導をお願いします。また、医薬品添付文書以外にも、以下のホームページのガイダンスを参考にされることをお願いします。

世界保健機関（WHO）：<http://www.who.int/en>

米国疾病管理予防センター（CDC）：<http://www.cdc.gov/h1n1flu/guidance>

国立感染症研究所感染症情報センター（IDSC）：  
[http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/jyouhou002.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/jyouhou002.html)

社団法人日本感染症学会緊急提言「一般医療機関における新型インフルエンザの対応について」：[http://www.kansensho.or.jp/news/090521soiv\\_teigen.pdf](http://www.kansensho.or.jp/news/090521soiv_teigen.pdf)

最後に、ワイス株式会社および武田薬品工業株式会社は、これからも医療関係者の皆様に重要かつ最新の情報をお伝えしてまいります。

平成 21 年 9 月 3 日

ワイス株式会社  
武田薬品工業株式会社